

■笹巻き作り 元気サロン部長 吉井乃里子

6月17日、本郷の山根悦子さんを講師に、笹巻き作りを行いました。

参加者は初心者からベテランの方まで様々。各々のペースでだんごを笹の葉で包み、い草で結んでいきました。苦戦する場面もありましたが、慣れた方が手本を見せたり参加者同士で教え合ったりしながら楽しく作業を進めていきました。中でも細長く美しく仕上げる「三味線巻き」を披露してくださったベテランの方の見事な手さばきには参加者から感嘆の声があがりました。

笹巻きは、かつては各家庭で作られ、軒先に吊るして乾燥させ保存食として食べられていたそうです。

近年では笹の葉の確保が難しくなり笹巻きを作る機会も少なくなっています。今回の活動を通して、この季節ならではの味、地域に受け継がれてきた味を次の世代へと伝えていくことの大切さを改めて感じるひとときとなりました。



■りんごちゃん教室 乳幼児部長 三谷裕美子

7月のりんごちゃん教室は七夕会をしました。短冊に込められた母の願いは「元気に健やかに育ちますように」で、スタッフも同じ思いです。参加してくれた子供たちの笑顔と成長に元気をもらっています。今回は「てての会」の手遊びやベルの演奏、絵本やパネルシアターを楽しみました。初めて参加されたお母さんも「楽しかった」と、笑顔。なにより子供たちが満足そうな顔で、うれしくなりました。



■ノルディックウォーキング【高齢者部】 参加者 伊藤里美 ♪雨もまた楽し

前日までの雨模様当日朝の曇り空。関係者や参加者の気を揉ませた5月27日、「行きましょう！」の一声でノルディックウォーキングがスタートしました。

船木講師さんのご指導で準備運動を行い、古志コミセンを後に花の郷へ向かいました。行きは皆さんの足取りも軽く、おしゃべりしながらにぎやかに歩を進めました。

花の郷では、まず樹脂粘土の山野草展示に始まり、色鮮やかな花々に囲まれて、疲れも癒されました。中でも紫陽花の花が見ごろで、その種類と色の多様さに「きれいだね」「すごいね」の連発でした。

集合写真を撮って、帰り道に向かう頃から雨がパラパラ。やがて厚い雨雲に覆われて本格的に降り出しました。途中でカッパを着たり、傘をさしたり、無理せず歩きをやめたりして、何とか全員古志コミセンまでたどり着きました。

雨に濡れながらのウォーキングは初めてでしたが、それも気にならぬ爽快な気分を味わえました。お世話になった方々に感謝申し上げます。



俳句 五七会
賑やかに燕のカップル三家族
葉桜にこもれびもれる里の山
五月晴れシンプル塩の豆ごはん

高橋美夫
加藤久恵
原小夜子



古志福祉だより

第 101 号

令和 8 年 7 月

古志地区社会福祉協議会

TEL 21-0925

FAX 21-1066

ふれあいと みんなが 笑顔の まちづくり

ごあいさつ

古志地区社会福祉協議会 会長 山根里司

昨年度は、古志地区社会福祉協議会の活動には格別のご理解とご支援をいただき誠にありがとうございました。

私たちのまち古志でも高齢化が進み、一人暮らし高齢者世帯の増加、少子化は、地域のコミュニティ機能などに少なからず影響を与えており、活力ある地域づくりのためには、地域住民の主体的な「見守り活動」「生活支援活動」などへの取り組みの推進が重要ではないでしょうか。

今年度も古志地区社会福祉協議会では「ふれあいとみんなが笑顔のまちづくり」を目標に活動してまいりたいと思いますので、皆様のご理解、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。



副会長就任のご挨拶

横原 茂

長年にわたって地域のさまざまな福祉事業に携わってこられた前任者の高橋悦子さんの後を引き継ぎ、この度、古志地区社会福祉協議会の副会長に就任いたしました。現役時代にこれほど出世が早ければ、もっと給料もらえてたのになどという不謹慎な思いが頭をよぎりましたが、お引き受けしたからには、古志地区の地域福祉の向上のために微力を尽くしたいと思っています。

これまで地域福祉部長として、B型サロン、見守りネットワーク、福祉の日、ふれあい農園などを担当してきました。また、映画好きの私にとって、映写会の開催は楽しみでもあります。引き続き同じ役職に留まりつつ、山根里司会長、林伸副会長ほか役員の皆さまとともに、地区社協の事業全般について支えてまいります。これまで関わってきた活動を通して、古志地区において住民の自治協会加入率が低下しつつある現状への対応が必要ではないかと感じています。つまり、自治協会加入者への情報や事業の提供を基本としながら、それ以外の世帯へとどのように支援やサービスの輪を広げていくのか、検討してみたいと考えています。

最後になりますが、古志地区社会福祉協議会の諸事業に対しまして引き続きご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

古志ひとめぐり～今年もでかけました～

■さくらんぼサロン

さくらんぼサロン部長 高橋悦子

風薫るこの季節に、古志の町をめぐる企画は、今年が4回目となりました。5月25日（月）快晴、古志コミセンを出発したジャンボタクシーは、まず古志大橋を渡り川北方面へ。皆さんのお家の近くをゆっくり通ると話がはずみ、神門堰橋から下りて西へ向かい、リハビリテーション病院と神戸川小学校が右側に見えると隣の町でも身近に感じ、車はゆうプラザから花の郷の駐車場で休憩。

そして、青田になっていく中、ロマン街道を東へ向かい、井上の加藤家の庭園を見学させていただきました。芝生と柳の木、菖蒲とスイレンの池、その中の生き物たち、サロンの方々は「ハーア」「へ～エ」と感心と驚きの声。加藤家に感謝し、1時間のコースを無事終えることができました。

今年も、楽しい行事が待っています。年度途中からでも、さくらんぼサロンに参加できます。どうぞ、おでかけください。

